

# 2006年6月期決算説明会

The logo for Ubilabs Innovations, featuring the letters 'IRI' in a bold, serif font. The 'I' is red, and the 'R' and 'I' are black. A small red dot is positioned above the right vertical stroke of the 'I'.

Ubilabs Innovations

2006年8月28日

株式会社インターネット総合研究所

---

(注) 当資料は、当社の2006年6月期決算報告を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。この資料のいかなる部分も一切の権利は当社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。また、本資料には2007年6月期の予想にかかわる記載がありますが、これはあくまでも当社の予想であり、その時々状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますのでご了承ください。

---

# 目 次

- 1 . 決算概況
- 2 . 今期予想
- 3 . IRIグループ各社の状況
- 4 . IRIグループの全体戦略

# 1. 決算概況

# 1-1. 2006年6月期決算サマリー

・既存子会社の成長とIXIの連結子会社化により売上・営業利益・経常利益は大幅増加  
 ・平成電電破綻の影響による特別損失を子会社株式の売却益が相殺し当期利益も大幅増加

		2006年6月期 実績	2005年6月期 実績	前年同期差	2006年6月期 直近予想	達成率	2006年6月期 期初予想	達成率
連結	売上高	68,366	18,822	+49,544	67,000	102.0%	46,300	147.7%
	営業利益	3,487	454	+3,033	3,300	105.7%	1,800	193.7%
	経常利益	3,354	523	+2,831	3,200	104.8%	1,650	203.3%
	当期利益	3,092	581	+2,511	3,800	81.4%(※)	2,200	140.5%

※当期利益が直近予想と乖離した要因

①BBSec(旧IRI-Com)で債権譲渡損の確定による差異約1.3億円

②連結修正仕分での売却損の発生(IRIが保有するBBSec(旧IRI-Com)株式の無償譲渡に伴うもの)約5.6億円

		2006年6月期 実績	2005年6月期 実績	前年同期差	2006年6月期 直近予想	達成率	2006年6月期 期初予想	達成率
単体	売上高	112	221	-109	110	101.8%	110	101.8%
	営業利益	△ 938	△ 586	-352	△ 940	---	△ 760	---
	経常利益	△ 1,129	△ 451	-678	△ 1,130	---	△ 830	---
	当期利益	1,324	△ 5	+1,329	1,325	99.9%	520	---

※期初予想は2005年8月26日発表の業績予想数値

※直近予想は2006年8月1日発表の業績予想修正数値

(単位:百万円:百万円未満切捨)

# 1-2. 連結PL概要

(単位: 百万円: 百万円未満切捨)

	2005/6月期					2006/6月期					前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
<b>売上高</b>	<b>3,334</b>	<b>4,598</b>	<b>5,538</b>	<b>5,350</b>	<b>18,822</b>	<b>13,336</b>	<b>15,713</b>	<b>17,223</b>	<b>22,094</b>	<b>68,366</b>	<b>363%</b>
[IPネットワーク事業]	2,079	3,457	4,247	4,058	13,842	3,614	3,403	1,818	1,554	10,389	75%
[IPプラットフォーム事業]	1,252	1,114	1,240	1,241	4,849	1,528	1,760	1,387	2,472	7,147	147%
[IPエンタープライジング事業]	-	-	-	-	-	8,092	10,732	13,787	17,980	50,591	
[その他事業]	2	27	50	50	130	103	137	△ 90	89	239	184%
<b>売上総利益</b>	<b>913</b>	<b>1,058</b>	<b>1,141</b>	<b>1,245</b>	<b>4,359</b>	<b>2,022</b>	<b>2,129</b>	<b>2,480</b>	<b>2,777</b>	<b>9,408</b>	<b>216%</b>
<b>売上総利益率</b>	<b>27.4%</b>	<b>23.0%</b>	<b>20.6%</b>	<b>23.3%</b>	<b>23.2%</b>	<b>15.2%</b>	<b>13.5%</b>	<b>14.4%</b>	<b>12.6%</b>	<b>13.8%</b>	<b>59%</b>
販管費	847	1,010	1,065	980	3,904	1,507	1,591	1,307	980	5,921	152%
<b>営業利益</b>	<b>66</b>	<b>47</b>	<b>75</b>	<b>264</b>	<b>454</b>	<b>514</b>	<b>539</b>	<b>1,173</b>	<b>1,261</b>	<b>3,487</b>	<b>768%</b>
<b>経常利益</b>	<b>106</b>	<b>34</b>	<b>183</b>	<b>198</b>	<b>523</b>	<b>278</b>	<b>503</b>	<b>1,281</b>	<b>1,292</b>	<b>3,354</b>	<b>641%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>48</b>	<b>13</b>	<b>40</b>	<b>478</b>	<b>581</b>	<b>△ 1,222</b>	<b>1,284</b>	<b>3,894</b>	<b>△ 864</b>	<b>3,092</b>	<b>532%</b>
暖簾代償却費	144	191	201	166	703	288	305	183	243	1,019	145%
減価償却費	109	123	134	145	512	217	204	162	164	747	146%
<b>暖簾代償却前営業利益</b>	<b>211</b>	<b>239</b>	<b>276</b>	<b>430</b>	<b>1,157</b>	<b>802</b>	<b>844</b>	<b>1,356</b>	<b>1,504</b>	<b>4,506</b>	<b>389%</b>
<b>EBITDA</b>	<b>320</b>	<b>362</b>	<b>410</b>	<b>576</b>	<b>1,670</b>	<b>1,019</b>	<b>1,048</b>	<b>1,518</b>	<b>1,668</b>	<b>5,253</b>	<b>315%</b>

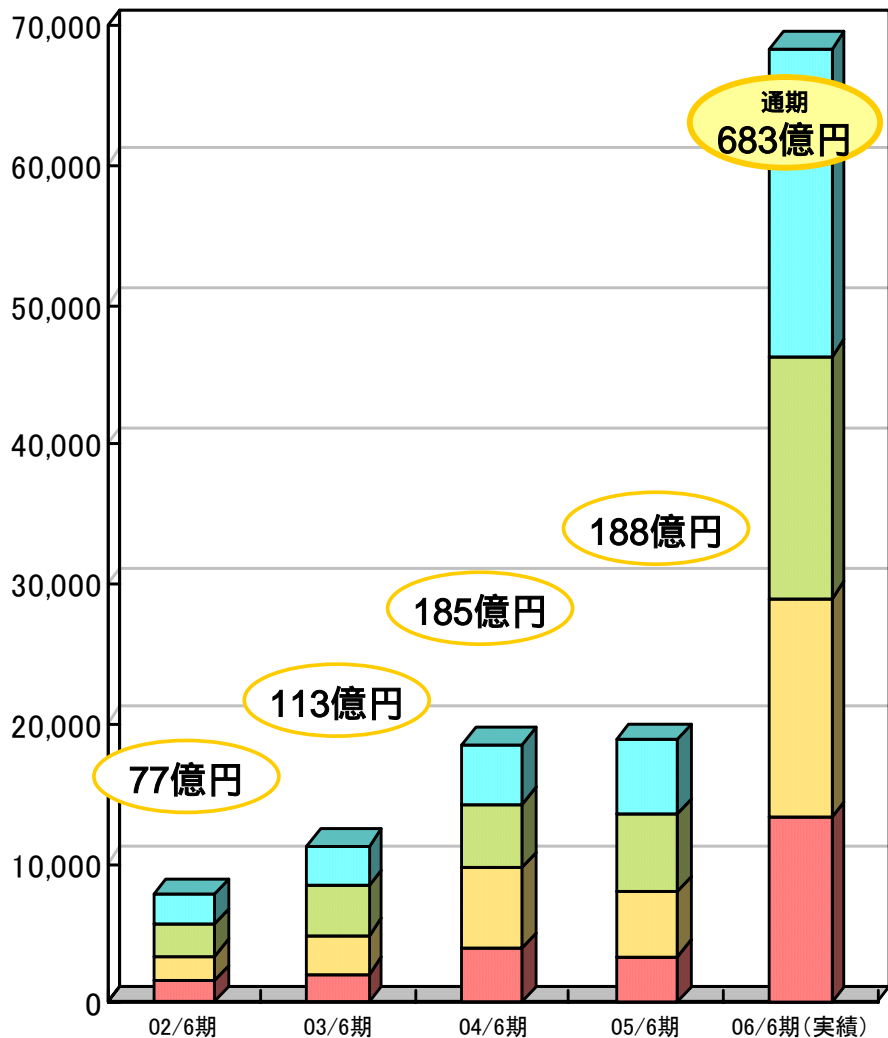
- ・売上高: IPネットワーク事業の減少: BBTowerの持分法適用子会社化による売上減少及びIRI-Comの平成電電破綻による売上減少  
IPプラットフォーム事業の増加: 子会社IRIユビテックの業績成長  
IPエンタープライジング事業の増加: IXIの連結子会社への算入による増加
- ・売上総利益: 事業拡大により売上総利益は金額ベースで大幅増加。事業構造上売上総利益率の低いIPエンタープライジング事業が今期より加わったことで売上総利益率は低下
- ・営業利益: 人員増加等により販管費は増加したが、売上拡大に伴い営業利益は大幅に増加
- ・経常利益: 新株発行費、有価証券評価損等による営業外費用を吸収し、経常利益も大幅に増加
- ・当期利益: 特別損失: 取引先平成電電の民事再生法手続申請による特別損失の計上(貸倒引当金繰入約26億円、投資有価証券評価損約9億円、VAS営業譲渡損2.6億円、債務保証損失5.7億円、固定資産除却約0.6億円)  
特別利益: 子会社株式売却益約71億円、関係持分変動益約11億円の計上

# 1-3. 業績推移 (四半期積上げ状況)

■ 第1四半期 
 ■ 第2四半期 
 ■ 第3四半期 
 ■ 第4四半期

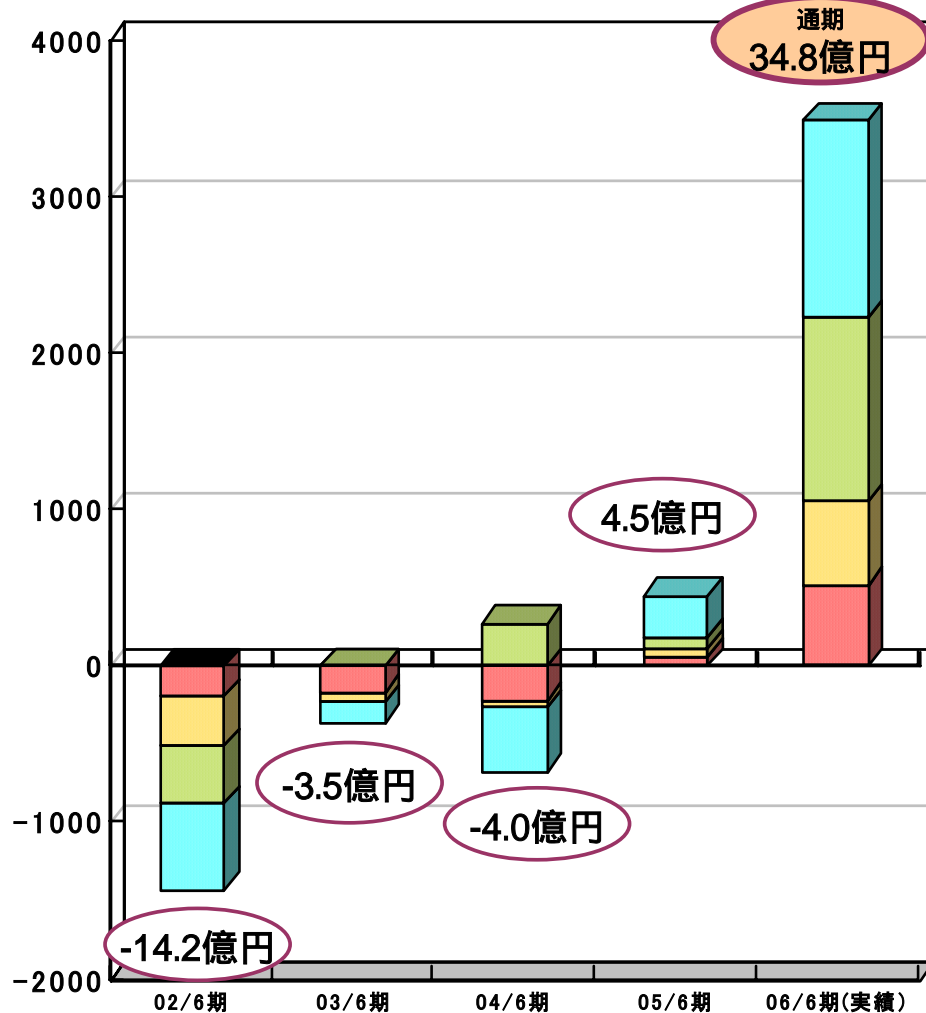
(単位:百万円)

< 四半期別売上高推移 >



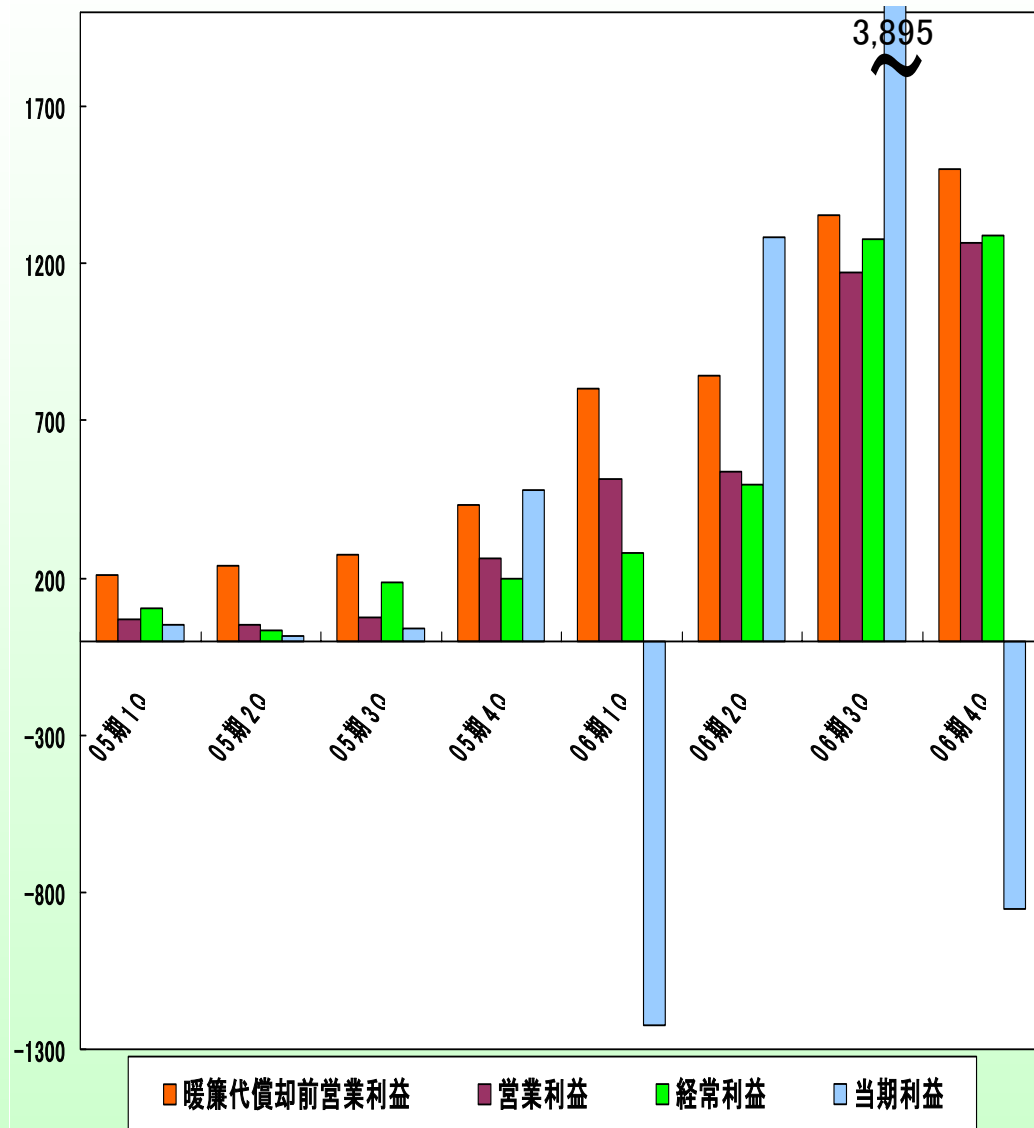
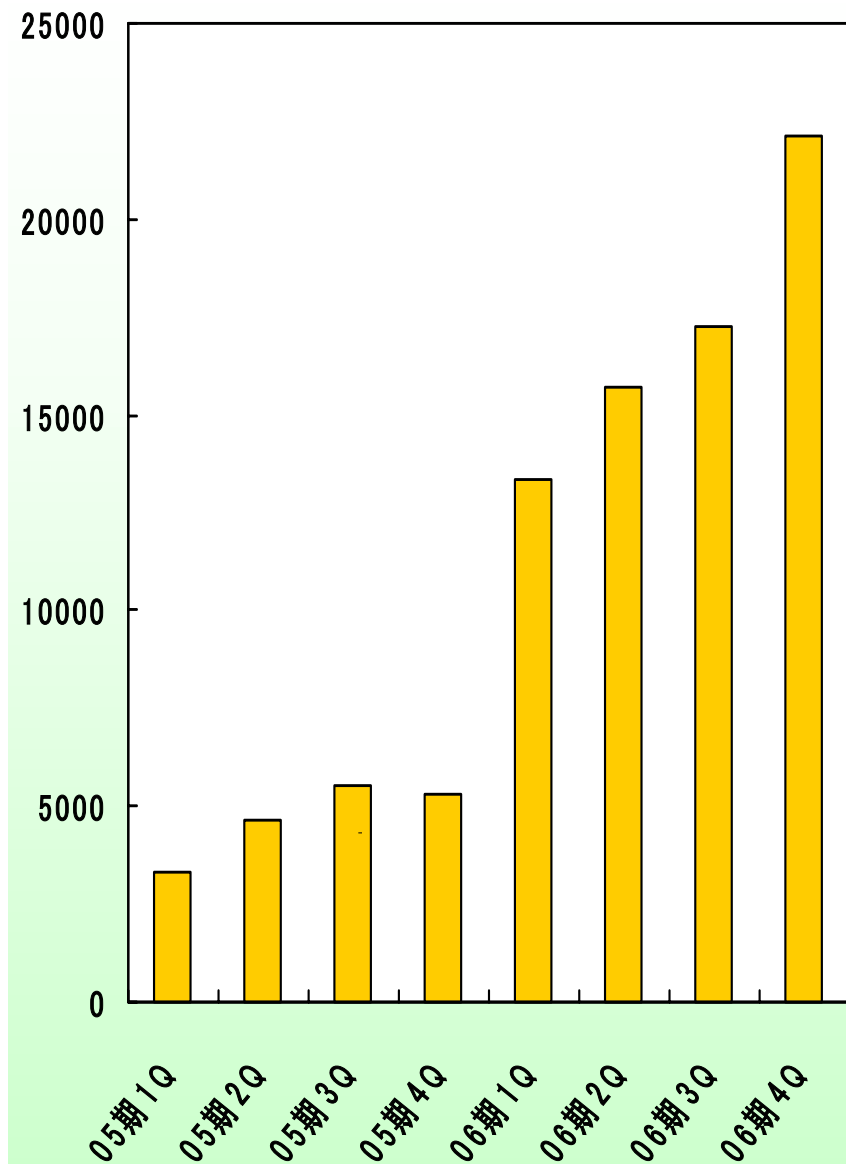
(単位:百万円)

< 四半期別営業利益推移 >



# 1-4. 四半期推移(売上高・利益)

(単位:百万円)



# 1-5. グループ会社別業績 (対前年同期比)

(単位:百万円:百万円未満四捨五入)

	売上高				営業利益			
	実績	前期	増減	要因	実績	前期	増減	要因
IRI単体	113	222	-109	本体における事業収入の減少	-939	-586	-353	販管費(人件費、支払手数料等)の増加
BBTower	3,275	4,861	-1,586	下期より持分法適用子会社化による減少	379	628	-249	下期より持分法適用子会社化による減少
IRI-Com	4,031	7,929	-3,898	平成電電破綻による売上の減少	-205	117	-322	売上減少による利益の減少
IRI-CT	2,267	701	1,566	イード社買収による売上の増加	79	37	42	売上増加による利益の増加
PoD	1,295	446	849	VOD事業におけるGyaO関連売上の増加	186	57	129	売上増加による利益の増加
IRIユビテック	6,610	4,441	2,169	モバイル・ユビキタス事業売上の増加	670	502	168	高採算のコンサル案件の増加
ファイバーテック	566	452	114	極細径内視鏡売上の増加	-160	-81	-79	損益分岐売上未達成による赤字の継続
IXI	50,591	N/A	50,591	連結子会社への算入	4,360	N/A	4,360	連結子会社への算入
IRI-FTA+FT	400	250	150		-143	80	-223	前払費用の一部費用計上
IRI-USA他	40	5	35		-10	-10	-0	
合計	69,187	19,306	49,881		4,217	743	3,474	
連結修正	-821	-484	-337	グループ間売上の増加	-730	-288	-442	暖簾代償却費(IXI等)の増加
連結	68,366	18,822	49,544		3,487	455	3,032	

	経常利益				当期利益			
	実績	前期	増減	要因	実績	前期	増減	要因
IRI単体	-1,129	-452	-677	営業外費用の増加(資金調達関連費用)	1,325	-6	1,331	特別利益(子会社株式売却益)の計上
BBTower	359	607	-248	下期より持分法適用子会社化による減少	449	613	-164	下期より持分法適用子会社化による減少
IRI-Com	-203	154	-357	売上減少による利益の減少	-2,198	-35	-2,163	特別損失(平成電電関連損失)の計上
IRI-CT	77	36	41	売上増加による利益の増加	59	30	29	売上増加による利益の増加
PoD	186	57	129	売上増加による利益の増加	136	57	79	売上増加による利益の増加
IRIユビテック	673	466	207	高採算のコンサル案件の増加	383	266	117	高採算のコンサル案件の増加
ファイバーテック	-158	-79	-79	損益分岐売上未達成による赤字	-162	-90	-72	損益分岐売上未達成による赤字
IXI	4,300	N/A	4,300	連結子会社への算入	2,374	N/A	2,374	連結子会社への算入
IRI-FTA+FT	-144	80	-224	前払費用の一部費用計上	-190	46	-236	前払費用の一部費用計上
IRI-USA他	-3	-10	7		-3	-10	7	
合計	3,959	859	3,100		2,174	872	1,302	
連結修正	-604	-335	-269	暖簾代償却費(IXI等)の増加	919	-292	1,211	平成電電関連の連結処理(連結修正)
連結	3,355	524	2,831		3,092	581	2,511	



# 1-6. 連結BS概要

(単位:百万円:百万円未満切捨)

(単位:百万円)	2005/6月期				2006/6月期				
	1Q	中間期	3Q	決算期	1Q	中間期	3Q	決算期	前四半期比
<b>流動資産</b>	<b>8,699</b>	<b>12,908</b>	<b>13,943</b>	<b>14,431</b>	<b>23,742</b>	<b>25,329</b>	<b>28,669</b>	<b>36,294</b>	<b>126.6%</b>
うち 現金及び預金	3,939	5,637	5,566	6,043	10,204	7,165	10,592	14,940	141.0%
うち 受取手形及び売掛金	4,010	4,083	5,024	4,971	4,537	6,925	8,191	8,990	109.8%
うち 棚卸資産	308	359	461	473	5,674	7,885	7,169	9,804	136.8%
うち その他の流動資産(含 前払費用)	463	2,832	2,910	2,845	3,347	3,354	2,717	2,560	94.2%
<b>固定資産</b>	<b>7,056</b>	<b>8,739</b>	<b>8,960</b>	<b>9,304</b>	<b>19,771</b>	<b>19,356</b>	<b>19,531</b>	<b>20,272</b>	<b>103.8%</b>
うち 有形固定資産	2,404	2,572	2,596	2,763	4,197	2,754	3,188	4,697	147.3%
うち 無形固定資産	1,663	2,107	2,000	1,810	10,632	10,060	9,192	8,812	95.9%
うち 投資その他資産	2,988	4,059	4,363	4,731	4,941	7,158	7,149	7,217	101.0%
<b>繰延資産</b>	<b>---</b>	<b>16</b>	<b>15</b>	<b>13</b>	<b>28</b>	<b>15</b>	<b>33</b>	<b>31</b>	<b>93.9%</b>
<b>資産合計</b>	<b>15,756</b>	<b>21,664</b>	<b>22,918</b>	<b>23,749</b>	<b>43,541</b>	<b>44,701</b>	<b>48,233</b>	<b>57,052</b>	<b>118.3%</b>
<b>流動負債</b>	<b>4,141</b>	<b>3,833</b>	<b>5,028</b>	<b>5,030</b>	<b>11,083</b>	<b>13,136</b>	<b>10,044</b>	<b>17,224</b>	<b>171.5%</b>
うち 支払手形及び買掛金	2,803	2,333	3,551	3,594	4,372	7,140	5,408	13,970	258.3%
うち 短期借入金(1年内返済長借金含む)	100	243	232	253	3,988	2,835	1,995	1,282	64.3%
<b>固定負債</b>	<b>523</b>	<b>4,993</b>	<b>4,900</b>	<b>4,815</b>	<b>11,103</b>	<b>5,011</b>	<b>4,953</b>	<b>6,849</b>	<b>138.3%</b>
うち 長期借入金								2,033	
うち 新株予約権付社債	---	4,500	4,500	4,500	10,490	4,500	4,500	4,500	100.0%
<b>負債合計</b>	<b>4,664</b>	<b>8,826</b>	<b>9,929</b>	<b>9,845</b>	<b>22,187</b>	<b>18,147</b>	<b>14,998</b>	<b>24,073</b>	<b>160.5%</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>1,178</b>	<b>2,024</b>	<b>2,126</b>	<b>2,495</b>	<b>6,278</b>	<b>4,106</b>	<b>7,140</b>	<b>7,578</b>	<b>106.1%</b>
資本金	3,866	3,900	3,906	3,920	6,474	9,426	9,430	9,444	100.1%
資本準備金	6,266	7,058	7,065	7,073	9,532	12,482	12,486	12,500	100.1%
利益剰余金	△ 243	△ 162	△ 121	356	△ 881	403	4,318	3,415	79.1%
<b>株主資本合計</b>	<b>9,913</b>	<b>10,813</b>	<b>10,862</b>	<b>11,408</b>	<b>15,075</b>	<b>22,447</b>	<b>26,094</b>	<b>25,352</b>	<b>97.2%</b>
<b>純資産合計</b>								<b>32,978</b>	
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,756</b>	<b>21,664</b>	<b>22,918</b>	<b>23,749</b>	<b>43,541</b>	<b>44,701</b>	<b>48,233</b>	<b>57,052</b>	<b>118.3%</b>

前四半期比増減要因 ・**流動資産の増加**:IXIの借入による現金の増加、IXIの売上増加に伴う棚卸資産の増加。

・**有形固定資産の増加**:IXI子会社における建設仮勘定(航空機)の増加

・**流動負債の増加**:IXIの買掛金の増加・**固定負債の増加**:IXIの長期借入金の増加

# 1-7. 連結CF概要

(単位:百万円:百万円未満切捨)

(単位:百万円)	2004/6月期	2005/6月期	2006/6月期	
	決算期末	決算期末	決算期末	前期末比 (差引)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 514	△ 991	2,285	3,276
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 680	△ 1,160	△ 7,842	-6,682
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,949	4,031	14,503	10,472
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	1	2	1
V 現金及び現金同等物の増加額	1,748	1,880	8,948	7,068
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,251	4,000	5,991	1,991
VII 連結子会社増加による増加額	—	112	0	-112
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	3,999	5,992	14,940	8,948

## ・営業キャッシュフローの増加

増加要因:利益の増加、連結調整勘定の増加、子会社IXIにおける運転資本の変動  
(売掛金増加: 23億円/たな卸資産増加: 59億円/買掛金増加:102億円)

## ・投資キャッシュアウトフローの増加

増加要因:株式取得 (IXI:90億円、その他:17億円)、固定資産取得 (BBTower・IXI等:38億円)

## ・財務キャッシュフローの増加:

増加要因:社債発行(110億円)、少数株主の払込 (IXI公募)

# 1-8. 連結グループ:財務ハイライト(上半期:2005年7月~12月)

## 公開買付の実施、IXIとの資本及び業務提携(7月)

- ・両者が有するIPネットワークソリューションとIPネットワークサービスを提供し、GISエンタープライズ市場を開拓
- ・買付価格:1株につき330,000円。買付後の所有株式数35,254株(買付終了2005年8月8日)

## YOZAN、IRIグループ間との資本・業務提携(7月)

- ・次世代無線ブロードバンド「WiMAX」事業を推進
- ・YOZANの発行済株式総数の1.52%を取得し、YOZANへIRIユビテックの発行済株式総数の1.31%を譲渡

## 第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行(8月)

- ・IXIの公開買付による株式取得
- ・社債の総額:11,000,000,000円 転換価額:当初176,000円 下限転換価額88,000円 上限転換価額228,000円  
2005年11月4日に全額転換(転換株数90,154株[端株除く])

## BBTower大証券ヘラクレスへ上場(8月)

- ・2005年8月3日上場。公募価格550,000円に対し、初値3,030,000円。IRIからの売却株数は300株

## IRI-CTの第三者割当増資の引受け、IRI-CTによる(株)イードの第三者割当増資の引受け(9月)

- ・新株発行数:4,067株 発行総額610,050,000円 IRIの持株比率は77.0%
- ・IRI-CTはイードを子会社化  
インターネットリサーチ分野での調査パネル規模の拡大、イードが有する国内外の顧客企業への新しいサービスの提供

## 上場子会社2社、株式分割を発表(9月、10月)

- ・1株当たりの投資金額を下げ、株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図る
- ・BBTower:2005年9月30日時点の株主に対し、1:5の分割(効力発生日:2005年11月18日)
- ・IRIユビテック:2005年10月31日の株主に対し、1:2の分割(効力発生日:2005年12月20日)

## BBTowerの株式一部売却(10月)

- ・当社の事業戦略および子会社の事業再建における資金として確保するために一部売却を決定
- ・上限の9,641株(発行済株式総数の約10%)全株が2006年2月に売却完了 IRI持株比率は40.1%に  
連結子会社から持分法適用関連会社へ

# 1-9. 連結グループ:財務ハイライト(下半期:2006年1月~6月)

## (株)モバイル・ブレイクスルーの設立(1月)

- ・三井物産、IRIグループでMVNO事業を支援するMVNE企画会社を合併で設立
- ・出資額:IRI 4,000万円(66.7%)、IRIユビテック 800万円(13.3%)

## (株)グローバルナレッジネットワーク(GKN)の新株予約権付社債の引受け(1月)

- ・IPエデュケーション事業の開始 IT教育サービス市場の開拓
- ・新株予約権付社債2億円、新株予約権32個(普通株式1個当たり521株、47,985円)の引受契約を締結
- ・2006年7月3日に新株予約権付社債の新株予約権行使と新株予約権の一部行使により、13,546株を取得  
持株比率73.1%となりIRIの子会社へ

## IRIユビテックの一部株式売却(2月、4月)

- ・IRIユビテックの株式の分布状況改善および流動性の向上を図るため一部売却
- ・売却後のIRIの持株数27,018株(持株比率77.8%)

## IXIの第三者割当増資の引受け(3月)

- ・IXIの事業拡充のため新株式8,000株(公募増資4,000株、第三者割当増資4,000株)の発行
- ・当社は第三者割当増資を引受け、IXIとの連結を維持 引受け後の持株比率は52.19%(2006年6月末現在)

## IPシナジーファイナンス™事業第一号案件として(株)アイ・ビー・イー(IBE)資金調達のアレンジメント(3月)

- ・放送・通信分野で業務提携
- ・IBEが発行する転換社債20億円をアイ・アール・アイファイナンスアンドテクノロジー(IRI-FT)が管理するファンドがファイナンスをアレンジメント

## IRI-Comの再建方針の決定(4月)

- ・IRI-Comの減資、当社が現在保有しているIRI-Com株式のIRI-Comへの全株式無償譲渡、IRI-Comへの債権(貸付金)の一部放棄 債権(貸付金)放棄予定額:約22億円 債権放棄実行日:平成18年5月29日
- ・第三者割当増資の実施 外部によるファンドが引受け(68.2%)。当社の持株比率は89.7%から14.7%へ

## 株式交換によるサーバーホールディングスの完全子会社化を決定(4月)

- ・携帯電話向けコンテンツ流通に関する技術・ノウハウをグループ内に取り込むことを目的
- ・株式交換比率 IRI:サーバーホールディングス=1:2.6 株式交換により交付する新株式数 10,327株  
2006年7月1日にIRIの100%子会社へ

# 1-10. 新子会社:サーバーホールディングス

設立:2005年7月 資本金:2,000万円 代表取締役社長:梅内林太郎

「モバイル」・「ワンソース」・「最適化」・「変換」をキーワードにモバイルビジネスを行う顧客に対してプロダクト、ソリューションを提供



動画・画像は、  
「 作品として」  
「 情報伝達手段として」  
あらゆるサービスで利用可能

- コンテンツプロバイダー
- システムインテグレーター
- 携帯電話会社
- 広告代理店
- コンテンツホルダー
- 一般企業
- 官公庁・地方自治体
- 端末メーカー

プロダクト・ソリューションの提供



モバイルビジネス分野

- モバイルコンテンツ**  
着メロ、着うた、動画、ゲーム...
- モバイルコマース**  
物販、サービス、トランザクション
- 広告・マーケティング**  
メール、クーポン、懸賞...
- ソリューション**  
販促、支援、構築、セキュリティ...

動画・画像コンテンツの具体的な用途

- ビデオクリップ、イベント、映画、ドラマ、スポーツ、ニュース...
- 商品紹介、サービス告知...
- 動画CM、製品紹介、告知、プレミアムコンテンツ...
- 製品紹介、定点カメラ映像、防犯、ソリューションの1機能...

設立:1995年12月 資本金:4億9,100万円 代表取締役社長:金木 良道 取締役会長:藤原 洋

研修コース、eラーニング / ASP、各種コンテンツ開発、人財開発コンサルティングなどを中心とした教育サービス事業

## 1. 対象とするコア顧客

システムインテグレータ、テレコム/キャリア、金融系システム  
子会社などを中心としたエンタープライズに特化  
TOP30 顧客からのビジネスで、全売上高の60%を形成



## 2. 顧客へ提供する価値

知識・技術の修得によって企業に貢献できる人財を育成すること

## 3. ポジショニング

独立系でNo.1の教育サービス専門企業  
知識伝達とスキル育成の各種ソリューションを展開  
マイクロソフト、シスコシステムズ、オラクルから  
優秀教育パートナーのアワードを連続受賞



## 4. 主要な研修提供方法

定期開催コース (弊社会場で開催するコースに集客)  
特別設定コース (お客様のニーズに合わせてカスタマイズ/講師派遣)  
eラーニング製品提供 / ASP      eラーニング / 各種コンテンツ開発  
人財開発コンサルティング      その他各種教育関連サービス

## 2. 今期予想

## 2-1 . 2006年6月期業績予想サマリー

- ・BBTower及びIRI-Comの連結子会社除外とグローバルナレッジ及びサーバーの連結子会社化
- ・子会社IXIの期初予想を反映(前期の特需要因を考慮した保守的な数字)

		通期業績				中間期業績			
		今期予想	前年同期			今期予想	前年同期	増減	
			実績	増減	調整後※				増減
連結	売上高	60,500	68,366	-7,866	61,060	-560	28,200	29,050	-850
	営業利益	2,600	3,487	-887	3,313	-713	220	1,053	-833
	経常利益	2,920	3,354	-434			490	781	-291
	当期利益	320	3,092	-2,772			△ 160	62	-222

前年同期調整後※: 今期連結子会社から外れたBBTowerとIRI-Comの2社を前期に遡り差し引いた実質成長比較数値

		通期業績			中間期業績		
		今期予想	前年同期	増減	今期予想	前年同期	増減
単体	売上高	790	112	+678	100	18	+82
	営業利益	△ 1,030	△ 938	-92	△ 600	△ 489	-111
	経常利益	△ 1,060	△ 1,129	+69	△ 610	△ 668	+58
	当期利益	△ 560	1,324	-1,884	△ 110	△ 1,069	+959

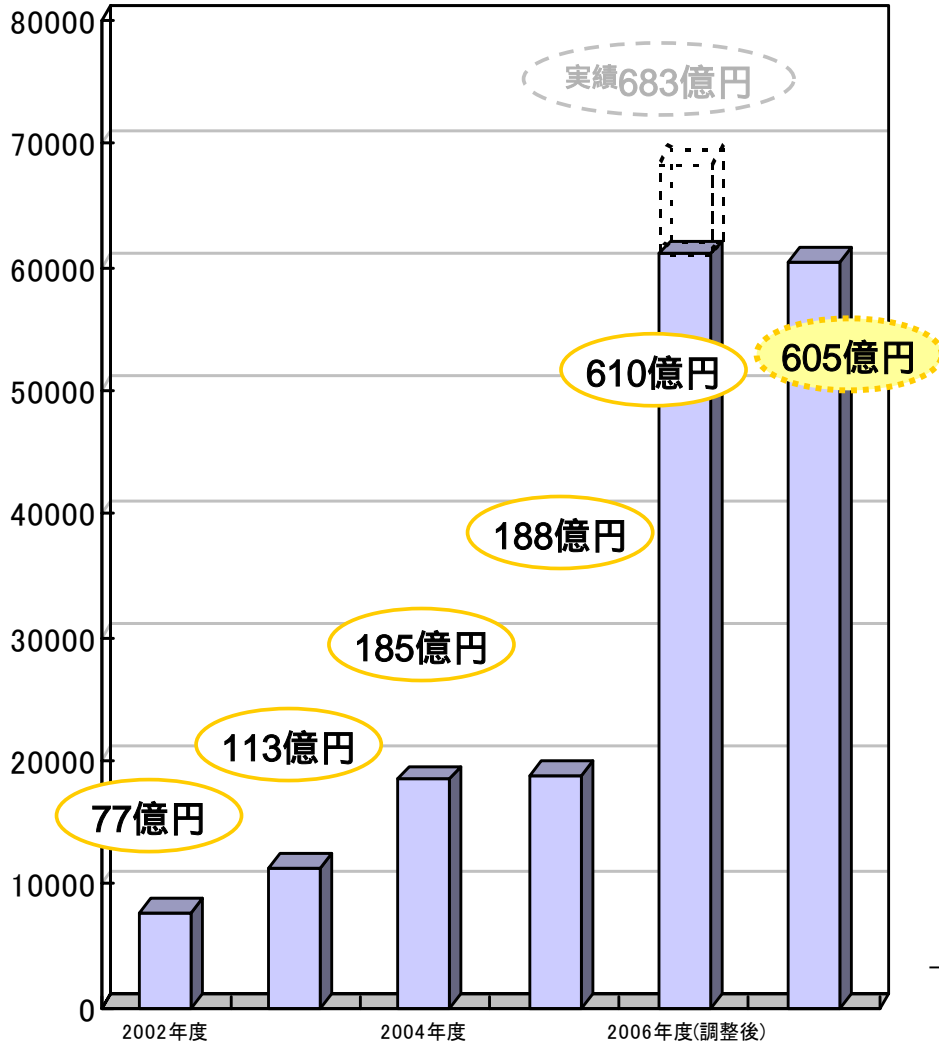
(単位:百万円)



# 2-2. 今期業績推移

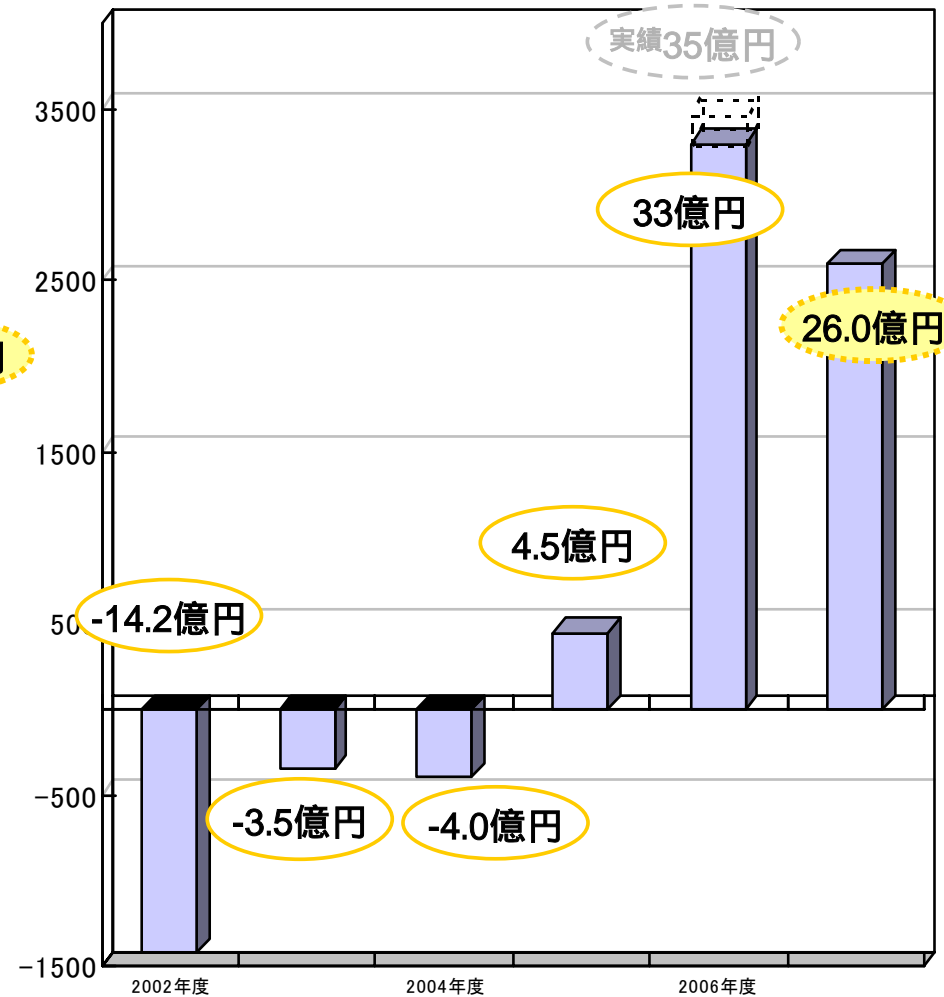
## < 売上高推移 >

(単位:百万円)



## < 営業利益推移 >

(単位:百万円)



2006年6月期数値は今期連結子会社から外れたBBTowerとIRI-Comの2社を前期に遡り差し引いた比較の調整後の数値となります。

# 2-3. 業績推移の事業別内訳

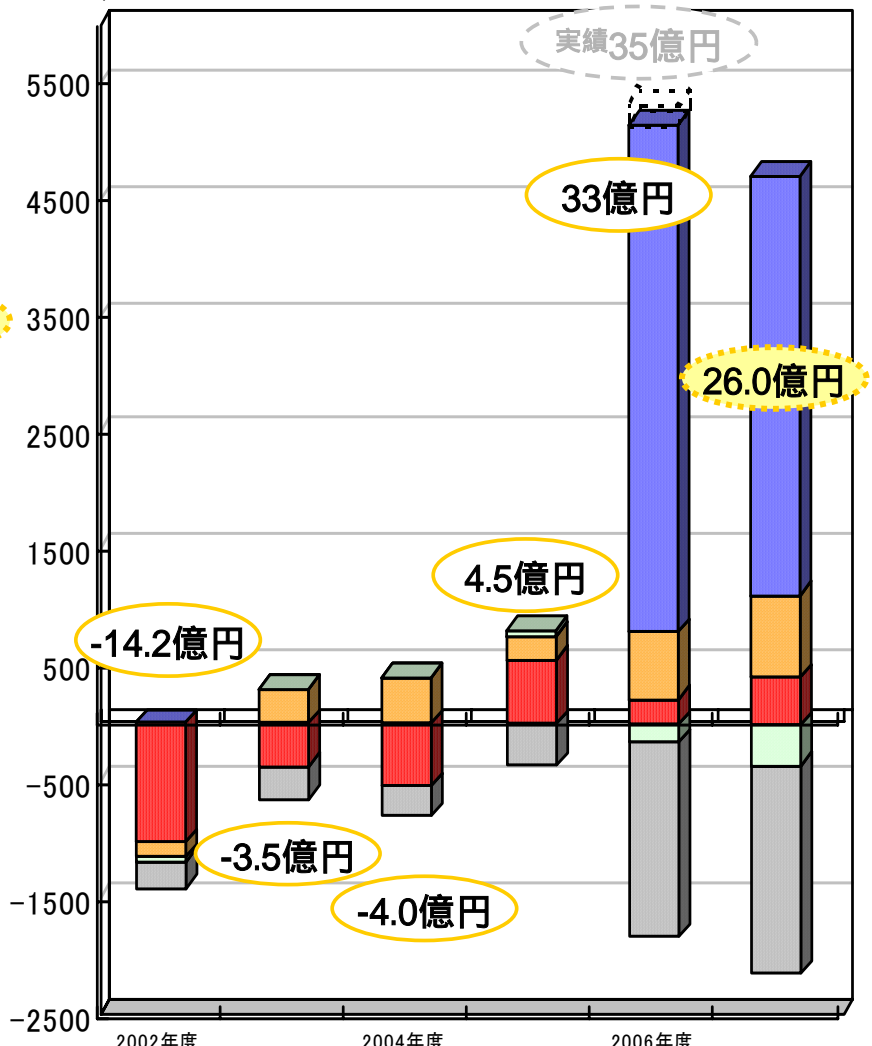
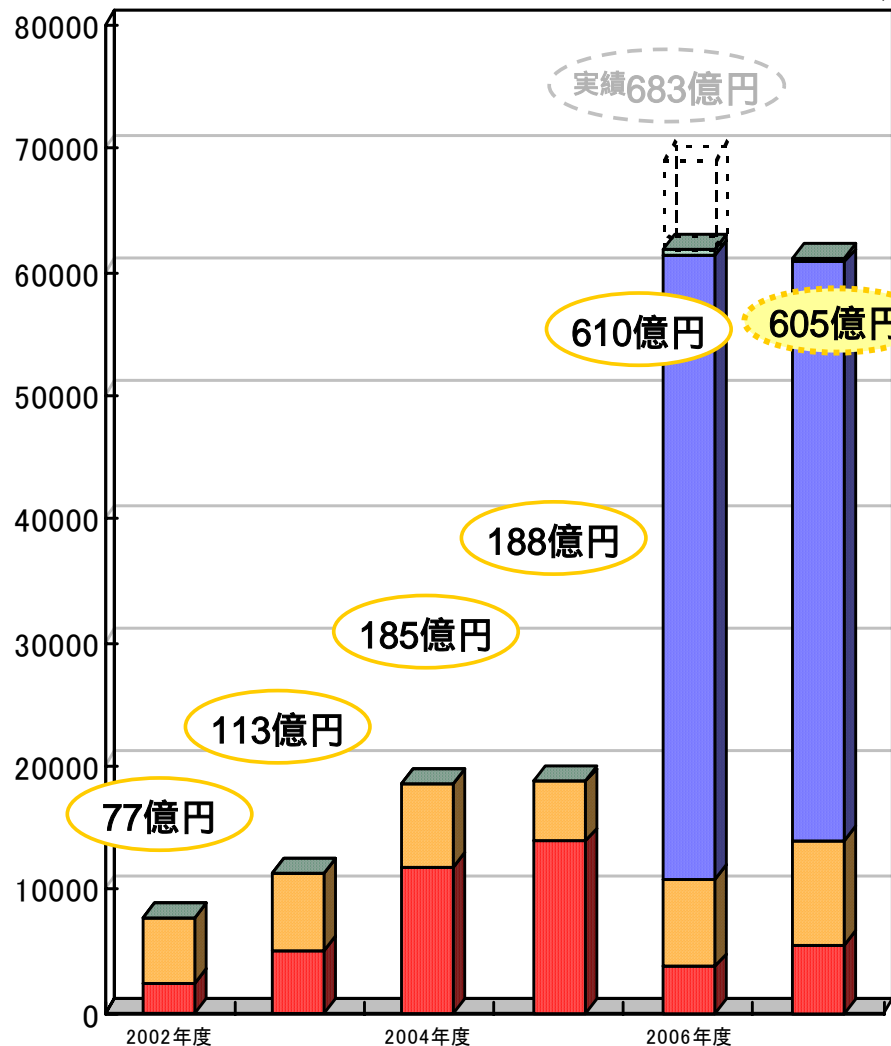
■ IPネットワーク事業 
 ■ IPプラットフォーム事業 
 ■ IPエンタープライジング事業 
 ■ その他事業 
 ■ 全社・消去

< 売上高推移 >

< 営業利益推移 >

(単位: 百万円)

(単位: 百万円)



2006年6月期数値は今期連結子会社から外れたBBTowerとIRI-Comの2社を前期に遡り差し引いた比較の調整後の数値となります。

## 2-4. 今期予想のグループ会社別内訳

売上高	中間期			通期			増減予想の要因
	今期予算	前期実績	増減	今期予算	前期実績	増減	
IRI単体	100	18	82	790	113	677	本体事業部門の創設による事業売上の増加
IRI-CT	1,180	802	379	2,520	2,267	253	IRI-CT、イード社の売上増加
PoD	730	527	203	1,490	1,295	195	Gyao等のVoD事業の売上増加
ユビテック	3,828	3,014	814	7,700	6,610	1,090	NES社の子会社化による売上増加
ファイバーテック	310	274	36	840	566	274	極細径内視鏡売上の増加、輸出売上の増加
IXI	20,340	18,825	1,515	43,500	50,591	-7,091	IXI期初予想を反映(前期の特需要因を考慮した数字)
グローバルナレッジ	1,560		1,560	3,300	0	3,300	連結子会社化
サーバー	310		310	670	0	670	連結子会社化
IRI-FTA+FT	200	200	0	400	400	0	
その他(IRI-USA/MBT)	0	40	-40	0	40	-40	
合計	28,558	29,601	-1,043	61,300	69,187	-7,887	
連結修正	-400	-551	151	-800	-821	21	
連結	28,200	29,050	-850	60,500	68,366	-7,866	
BBTower	0	3,275	-3,275	0	3,275	-3,275	連結子会社から持分法適用子会社化による減少
IRI-Com	0	2,626	-2,626	0	4,031	-4,031	連結除外による減少

営業利益	中間期			通期			増減予想の要因
	今期予算	前期実績	増減	今期予算	前期実績	増減	
IRI単体	-600	-489	-111	-1,030	-939	-91	本体事業部門の創設による人員増等の販売管理費の増加
IRI-CT	45	16	29	161	79	82	売上増加による利益の増加
PoD	72	56	16	201	186	15	売上増加による利益の増加
ユビテック	325	367	-42	700	670	30	売上増加による利益の増加
ファイバーテック	-74	-96	22	9	-160	169	売上増加による黒字化
IXI	1,248	1,510	-262	3,489	4,360	-871	IXI期初予想を反映(前期の特需要因を考慮した数字)
グローバルナレッジ	-21		-21	110	0	110	連結子会社化
サーバー	5		5	51	0	51	連結子会社化
IRI-FTA+FT	-365	-206	-159	-299	-143	-157	M&A関連費用の増加
その他(IRI-USA/MBT)	-26	25	-51	-52	-10	-42	MBT社の準備費用の計上
合計	609	1,422	-813	3,339	4,217	-877	
連結修正合計	-385	-369	-16	-750	-730	-20	連結調整勘定(サーバー、GKN等)の増加
連結	220	1,053	-833	2,590	3,487	-897	
BBTower	0	379	-379	0	379	-379	連結子会社から持分法適用子会社化による減少
IRI-Com	0	-141	141	0	-205	205	連結除外による減少

IXIの2006年7月～2007年3月における業績予想数値はIXI発表の2007年3月期業績予想における予想数値をもとに算出された数値であり、2007年4～6月における業績予想数値はIXIの2006年6月期(直近12ヶ月)実績に4分の1を乗じて算出された数値に基づいております

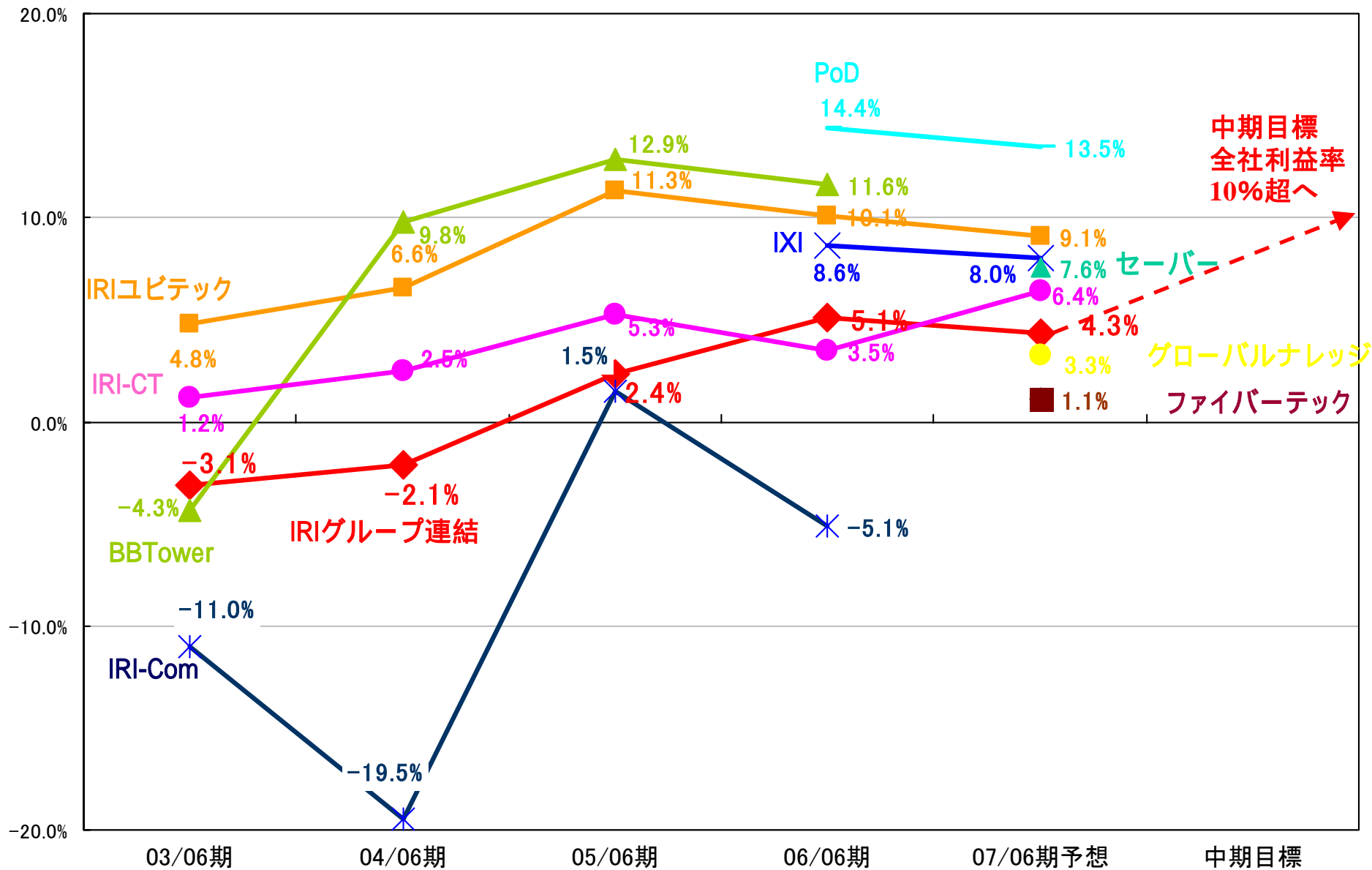
## 2-5. 今期予想のグループ会社別内訳

経常利益	中間期			通期			増減予想の要因
	今期予算	前期実績	増減	今期予算	前期実績	増減	
IRI単体	-610	-668	58	-1,060	-1,129	69	営業外費用の減少
IRI-CT	48	10	38	166	77	89	売上増加による利益の増加
PoD	53	56	-3	183	186	-3	
ユビテック	325	371	-46	699	673	26	売上増加による利益の増加
ファイバーテック	-75	-97	22	8	-158	166	売上増加による黒字化
IXI	1,204	1,478	-274	3,424	4,300	-876	IXI期初予想を反映(前期の特需要因を考慮した数字)
グローバルナレッジ	12		12	113	0	113	連結子会社化
セーバー	20		20	81	0	81	連結子会社化
IRI-FTA+FT	-365	-207	-158	-299	-144	-155	M&A関連費用の増加
その他(IRI-USA/MBT)	-26	26	-52	-52	-3	-49	MBT社の準備費用の計上
合計	587	1,203	-616	3,263	3,959	-696	
連結修正合計	-105	-422	317	-350	-604	254	持分法投資利益の増加
連結	480	781	-301	2,920	3,355	-442	
BBTower	0	359	-359	0	359	-359	連結子会社から持分法適用子会社化による減少
IRI-Com	0	-123	123	0	-203	203	連結除外による減少

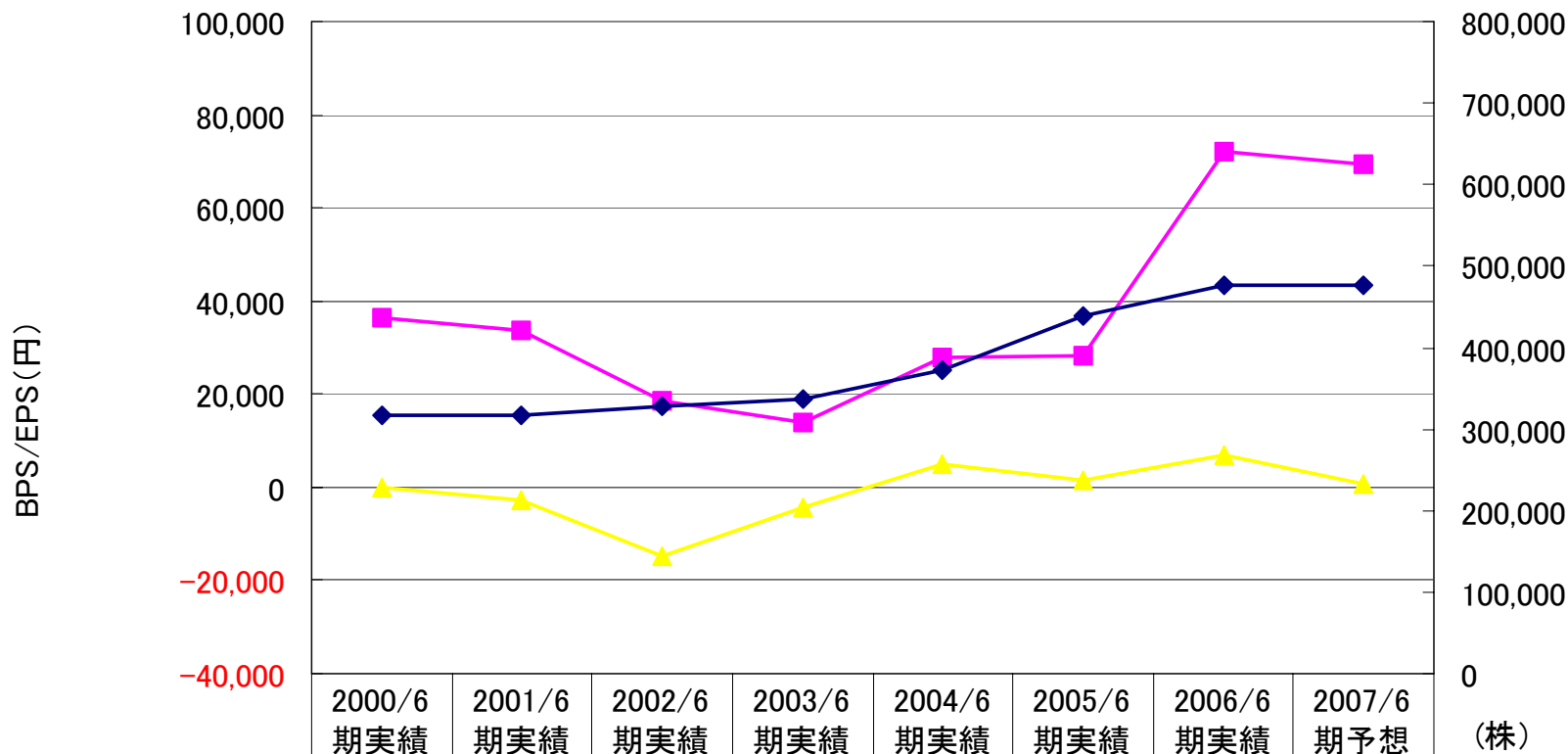
当期利益	中間期			通期			増減予想の要因
	今期予算	前期実績	増減	今期予算	前期実績	増減	
IRI単体	-110	-1,069	959	-563	1,325	-1,888	特別利益(子会社株式売却益)の減少
IRI-CT	41	-22	63	98	59	39	売上増加による利益の増加
PoD	31	48	-17	118	136	-18	
ユビテック	195	210	-15	419	383	36	売上増加による利益の増加
ファイバーテック	-75	-96	21	8	-162	170	売上増加による黒字化
IXI	543	771	-228	1,842	2,374	-533	IXI期初予想を反映(前期の特需要因を考慮した数字)
グローバルナレッジ	12		12	102	0	102	連結子会社化
セーバー	12		12	55	0	55	連結子会社化
IRI-FTA+FT	-365	-226	-139	-299	-190	-110	M&A関連費用の増加
その他(IRI-USA/MBT)	-26	26	-52	-52	-3	-49	MBT社の準備費用の計上
合計	258	-3,830	4,088	1,727	2,174	-446	
連結修正合計	-421	3,892	-4,313	-1,411	919	-2,330	連結修正額の増加(少数株主持分利益等)
連結	-160	62	-222	320	3,092	-2,776	
BBTower	0	449	-449	0	449	-449	連結子会社から持分法適用子会社化による減少
IRI-Com	0	-3,920	3,920	0	-2,198	2,198	連結除外による減少

IXIの2006年7月～2007年3月における業績予想数値はIXI発表の2007年3月期業績予想における予想数値をもとに算出された数値であり、2007年4～6月における業績予想数値はIXIの2006年6月期(直近12ヶ月)実績に4分の1を乗じて算出された数値に基づいております

# 2-6. グループ会社別営業利益率の推移



## 2-7. EPS・BPSの長期推移



07年6月期予想は8月25日発表の業績予想を基に算定

BPS: Book Value Per Shareの略称で一株当たり純資産とも言われ、会社の純資産が一株当たりどのくらいあるかを表します。

EPS: Earning Per Shareの略称で、企業の最終利益が一株当たりどのくらい計上しているかを表わします。

発行済株式数は分割調整後の期中平均株式数

## 3. グループ各社の状況

2006年6月期実績 売上：7,223百万円 営業利益：1,035百万円

2006年下期よりIRI連結子会社から持分法適用子会社へ変更となりました



## ブロードバンド配信事業

売上高は前期542百万円に対して14%増の618百万円、売上総利益は前期96百万円に対して67%増の161百万円。

ネットシネマ企画・製作、配信実績は過去最高の40本。J-WAVE音楽専門インターネットラジオの配信サービスを提供開始。

IRやCMなど、今までにないジャンルの動画製作を受注。

事業別売上高  
(百万円)

通期実績

前年実績

前年比

データセンター事業

6,605

4,317

53%増

稼動ラック数

1,872

1,287

45%増

ブロードバンド配信事業

618

542

14%増

合計

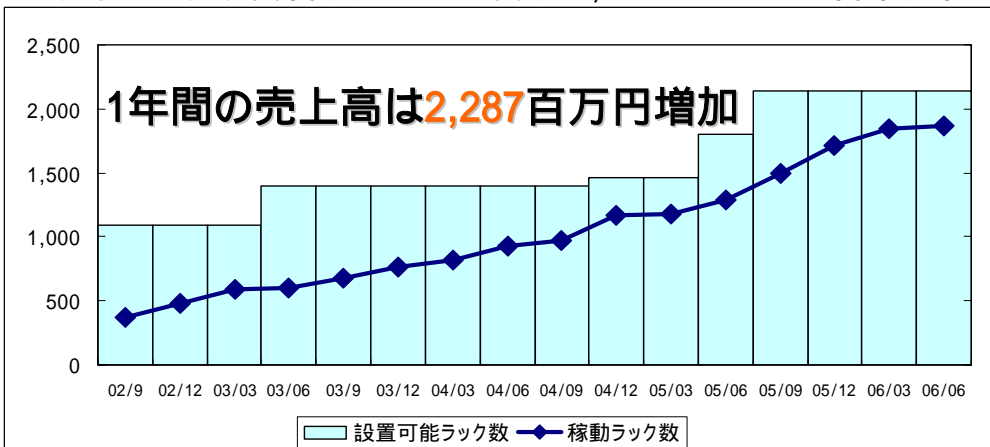
7,223

4,861

49%増

## データセンター事業

現在の実績稼動ラック数：1,872ラック 稼働率：87% (2006年6月現在)



スペースサービスの売上高は前期3,414百万円に対して36%増の4,661百万円、ネットワークサービスの売上高は2005年6月期814百万円に対して15%増の961百万円。

新たに立ち上げた第3サイトは、ほぼ完売。西日本で運用業務全般を受注し、平成18年3月からサービス提供開始。

保守サービスを付加した機器販売が好調。



2006年6月期実績 売上： 4,031百万円 営業利益： 205百万円

2007年6月期より連結除外となりました

事業別売上高 (百万円)	通期実績	前年実績	前年比
BBX事業	1,032	916	12.6%増
VAS事業	358	1,049	65.8%減
MSP事業	423	248	70.5%増
NI事業	2,129	5,714	62.7%減
ASP事業	89	-	-
合計	4,031	7,929	49.1%減

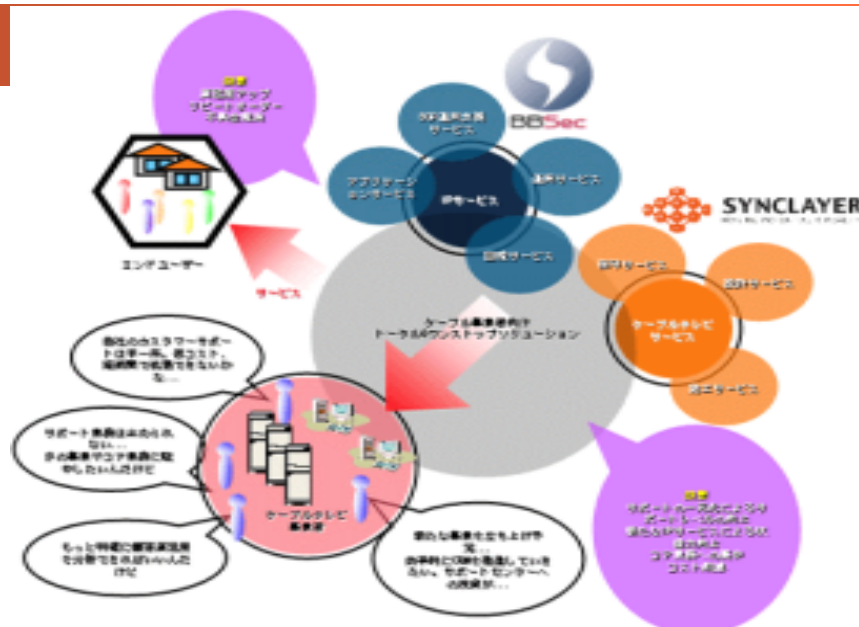
## 株式会社ブロードバンドセキュリティー に社名変更

5月29日、社名を株式会社ブロードバンドセキュリティー  
(英文名：BroadBand Security, Inc.)に変更。

## シンクレイヤと業務提携について合意

ケーブルインターネット分野で業務提携について基本合意。  
この合意により、ケーブルテレビ伝送路、およびインターネットに関連するすべてのインテグレーションの提供、インターネットの上位回線との接続、ネットワークインテグレーション、セキュリティ対策、システムやネットワークの監視・運用などをワンストップで提供することが可能になります。

BBSecは今回の業務提携により、シンクレイヤと技術協力を推進しながら、全国のケーブルテレビ事業者へのさらに充実したケーブルインターネットソリューションの提供を行う。



2006年6月期実績 売上： 2,267百万円 営業利益： 79百万円

事業別売上高 (百万円)	通期実績	前年実績	前年比
メディア・コンテンツ事業	382	236	61.8%増
モバイル&コマース事業	155	113	37.1%増
プラットフォーム・コンサル事業/その他	428	351	21.9%増
(株)イード	1,192	-	-
合計	2,267	701	223.3%増

RBB PRESS ユーザビリティの第一人者による  
人気ウェブコラムを書籍化！



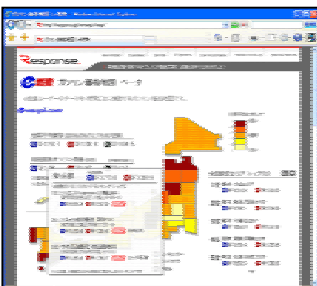
RBB PRESSは『ヤコブ・ニールセンのAlertbox - そのデザイン、間違ってます』を発売しました。ヤコブ・ニールセンは、ウェブデザインやユーザビリティ研究の世界的第一人者で、「Alertbox」という人気連載コラムを10年以上も続けています。このコラムはIRI-CTの個会社である株式会社イードが運営するユーザビリティ研究に関するサイトで、RBBPRESSでそのコラムを書籍化しました。

13万件の医療施設検索サイトMEDWEBをリニューアル  
患部検索機能と特集記事、ユーザアンケートを中心に身近な健康情報サイトへ <http://www.medweb.ne.jp/>



MEDWEBは2001年よりインキュベースジャパンが医療施設検索サイトとして運営してきたサイトで、13万件の医療施設データベースを中心に近所の医療施設を検索できるサービスを提供し好評を得てきました。今回のリニューアルからIRI-CTにて運営を開始し、広告を含めた各種ビジネスも同時に行っていきます。RBB、レスポンスで培ったノウハウを投入し「病院検索」No.1サイトへMEDWEBを拡大してまいります。

全国のガソリン販売価格をリアルタイムに集計する「e燃費ガソリン価格地図」を公開  
～ 毎日3,000入力の価格情報を集計～ <http://response.jp/e-nenpi/map/>



**e-nenpi.com**

マイカー管理サービス「e燃費」に、全国のガソリン販売価格を集計し1時間ごとに更新する「e燃費ガソリン価格地図」を追加し、公開しました。「e燃費ガソリン価格地図」は、マイカー管理サービス「e燃費」を利用するユーザーが入力する、毎日約3,000の給油情報から、ガソリンの販売価格を集計し更新後、都道府県別の平均価格地図として表示するものです。この地図によって、ドライブ前にガソリンの安い地域をチェックすることが可能になり、また都道府県別のガソリンスタンドランキングは、ガソリンスタンドを選択する際のユニークな情報として活用していただくことを想定しております。この機能追加により33万人のユーザーの拡大を行ってまいります。

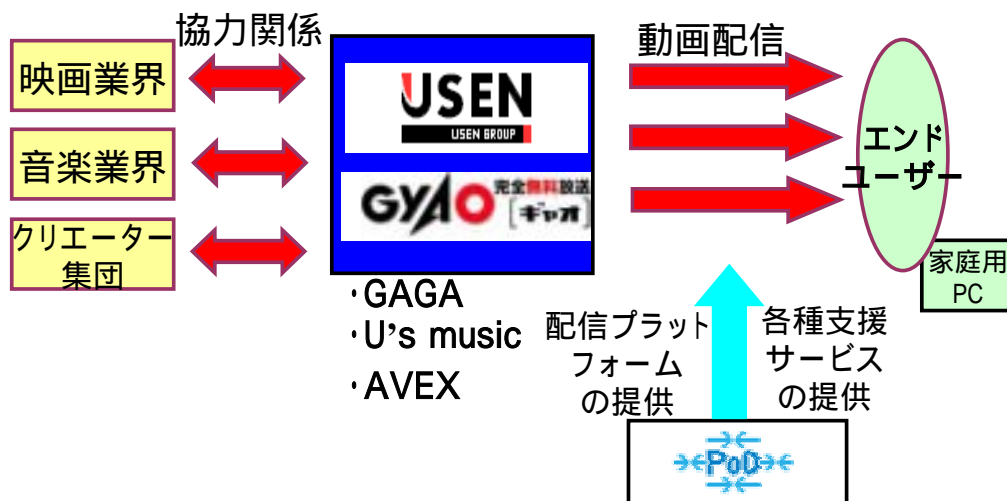
2006年6月期実績 売上: 1,295百万円 営業利益: 186百万円



事業別売上高 (百万円)	通期実績	前年実績	前年比
動画配信事業	1,295	446	190.3%増

## USENのGyaOサービス 登録視聴者数が1000万人を突破

USENの広告モデル型無料動画配信サービス「GyaO」の動画配信プラットフォームを提供。



GyaO 2006年6月に登録視聴者数が1000万人を突破！

PoDは、技術的事業パートナーとして、動画配信プラットフォームを提供。

### < 事業目標 >

重要顧客であるGyaOの成功に注力、動画配信市場の拡大に尽力。

GyaO成功後のコンテンツ事業者の市場参入に備え取込み。

2006年も東北楽天ゴールデンイーグルスの配信を実施中

2006年6月期実績 売上： 6,609百万円 営業利益： 669百万円

事業別売上高 (百万円)	通期実績	前年実績	前年比
電子機器事業( )	3,551	3,125	13.7%増
モバイル・ユビキタス事業	3,058	1,315	132.5%増
連結合計	6,609	4,441	48.8%増

創業以来、最高の売上高と利益を達成！

モバイル・ユビキタス事業の営業利益は  
前年同期比218.5%増の953百万円

従来からある携帯電話評価業務の受注が順調に拡大したことに加え、次世代無線ブロードバンドであるWiMAXネットワーク支援事業において、ネットワーク設計・構築コンサルティング業務を順調に受注したことによる。また、映像事業と画像事業は、各事業間のシナジーを高めよりよい開発体制を築くため、1セグメントの電子機器事業となった。

セグメント変更による

## 2006年8月1日 日本エンジニアリングシステム(NES)を子会社化

防災システム高度化に約20年貢献

<実績>

- 日本全国のダム・堰の無線コントロールシステム(\*)
- GPS地すべり計測システム

<主要お取引先>

- 日本無線(株)グループ 殿
- (株)東芝 殿

(\*) 河川水位、雨量、ダム水位のデータ収集から、ダムゲートコントロール等ダム監視を無線技術にて管理

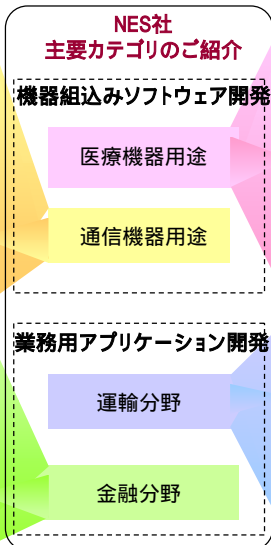
業務システムの安定稼働に貢献

<実績>

- 営業系システム
- 出納システム

<主要お取引先>

- 明治安田生命(相)グループ 殿
- 住生コンピューターサービス(株) 殿



医療機器高度化に 約10年貢献

<実績>

- 臨床検査装置
- その他医療分析装置
- 制御ソフト開発からデータ分析まで

<主要お取引先>

- アロカ(株)グループ 殿
- 日本電子(株)グループ 殿

ユーザビリティと限界利益の向上に貢献

<実績>

- ヒストリカルデータ連動型受発注システム

<主要お取引先>

- (株)JALインフォテック 殿

〔狙い〕

医療機器用途、通信機器用途など、シナジー効果を最大限発揮し、ユビテック・NESともに成長を目指す。

また、機器組み込みソフトウェアの分野においては、技術交流による両社間のレベルアップを図る。

連結収益の拡大、高収益企業を目指す。

2006年6月期実績 売上: 566百万円 営業利益: 160百万円



事業別売上高 (百万円)	通期実績	前年実績	前年比
極細径内視鏡	269	128	110.1%増
電子・硬性内視鏡	47	116	59.5%減
モニタリングシステム	159	93	71.0%増
その他製品	90	115	21.7%減
連結合計	566	452	25.2%増

## 超小型生体センサー

この生体センサーは心拍数・体温・動態・心電図などの生体情報計測をわずか11gの超小型筐体に装備した生体センサーです。このセンサーで取得したデータは身体に装着したまま無線伝送が可能で、LAN接続などを利用したインターネット経由で遠隔地から医療機関にもデータを送信することができます。高齢化が進む現代社会、また予防医学分野での医療機器としても応用できる技術です。



## デジタル映像技術のピックスワーク社と事業提携

当社はピックスワークが開発した画像圧縮ソフトウェア『Pixwork』を活用し、医用画像処理アプリケーションを開発・販売いたします。背景としましては近年の情報通信技術の高性能化・低価格化に伴い、患者に関わる画像情報の伝送に基づいて遠隔地から診断、指示などの医療行為を行なう「遠隔医療」に対する認知度が高まっています。特にCTやMRI等を介した画像診断分野においては、多くの医療施設に機器導入が進みながらも、高度な画像診断は専門医が常駐する病院にデジタル画像を転送し遠隔地での診断に頼らねばならない医療機関が存在するという遠隔医療が浸透しやすい環境にあります。しかし一方、遠隔診断を実行する上で、医用画像データの蓄積及び効率的な転送と共有という点でデータの圧縮が最大の課題となっています。同社は、高効率かつ完全に復元可能な独自の圧縮技術を開発しました。今後、当社とピックスワークは相互に協力し、画像診断以外の医療分野にも適応できる画像サーバーなどの開発を行なう予定です。



2006年3月期実績 売上: 40,335百万円 営業利益: 3,330百万円

IRI連結上は6月決算期(2005年7月～2006年6月)となります

事業別売上高 (百万円)	通期実績	前年実績	前年比
連結合計	40,335	17,628	128.8%増

## 音声認識ソリューション

顧客サービス向上・業務効率化を実現可能とする  
音声認識ソリューションの提供

コンタクトセンター業務効率化に寄与する  
VoiceSmile/Logの提供開始  
(音声テキスト変換と分析システムとの連携)

## ロジスティクス・ソリューション

刻々と変化する市場ニーズに対応可能なロジスティクスソリューションの提供

製造 / 販売 / 物流をシームレスに管理する計画支援  
広域在庫を統合管理するWMS構築  
無線インフラを活用した遠隔在庫管理・貨物追跡管理  
ICタグなど最新技術の活用 等



## セキュリティ・ソリューション

「時限くん」等のプロダクトを活用したセキュリティソリューションの提供

モバイルPC紛失・盗難時の情報流出防止  
企業内での業務情報、機密情報などの情報漏洩防止  
企業間でやり取りする個人情報、機密情報などの情報漏洩防止  
時間規制・使用回数規制により著作権保護を  
可能としたコンテンツ配信サービス 等



時限くんは「時限消去」「高性能データ保護」機能を持つソフトウェアです。

①

【時限消去によりデータを一人歩きさせません】  
ファイルは指定された条件で自動的に削除されるのでデータの一人歩きを防止できます。  
また、コピー・編集・印刷禁止等の規制や回数指定規制を与えることができます。

②

【モバイル環境も保護します】  
暗号ソフトウェアと複号ソフトウェアが社内ネットワーク上だけではなく、  
モバイルPC環境にも対応します。

③

【高速かつ高信頼性なソフトウェアです】  
デバイスドライバ技術をフルに活用し、高速処理、信頼性の高い機能をご提供します。

## 4. IRIグループの全体戦略

# Everything on **IP!** & **IP** on Everything!

エブリシング

オン アイピー アンド アイピー オン

エブリシング

20世紀の半導体技術のように、21世紀の産業創出のもととなる技術革新は**IP** (Internet Protocol) 技術である。

あらゆる情報、文化、社会活動を**IP** ネットワーク上に  
実現していく！



## 4-2. IRIグループにおけるIP技術の提供(顧客)

### あらゆる産業にIP技術を提供



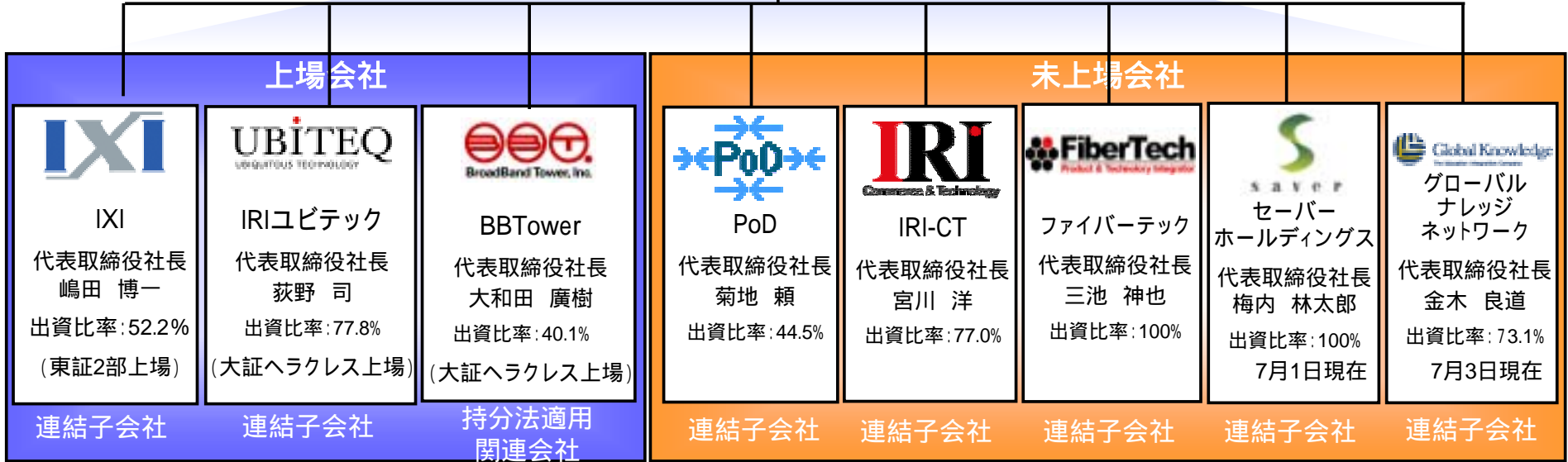
# 4-3. グループ戦略: 本体機能の強化

## IRI本体がグループ事業全体を束ねるコア事業を展開する(持株 事業会社へ)

<p><b>本社機能 = 持株会社の機能</b>                  グループ会社の成長支援を継続                  &lt; 財務機能 &gt;                  &lt; グループ・ガバナンス機能 &gt;                  &lt; 横断的な成長戦略の策定機能 &gt;                  &lt; IPエンタープライジング™事業推進機能 &gt;                  &lt; M&amp;Aを積極活用した新事業の創出 &gt;</p>	 代表取締役所長 藤原 洋 (東証マザーズ上場)	<p><b>本社機能 = 事業会社の機能</b>                  本体および上場しない100%子会社が一体となり                  グループ会社を束ねるグローバルな事業を展開</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     &lt; 本体事業 知的財産提供事業 &gt;                      &lt; 本体事業 ネットワーク社会基盤事業 &gt;                 </div>
--	-----------------------------------	---

## 本体コア事業にグループ経営資源を活用しグループ企業価値の最大化を図る

出資比率: 6月末現在 IRIグループ群



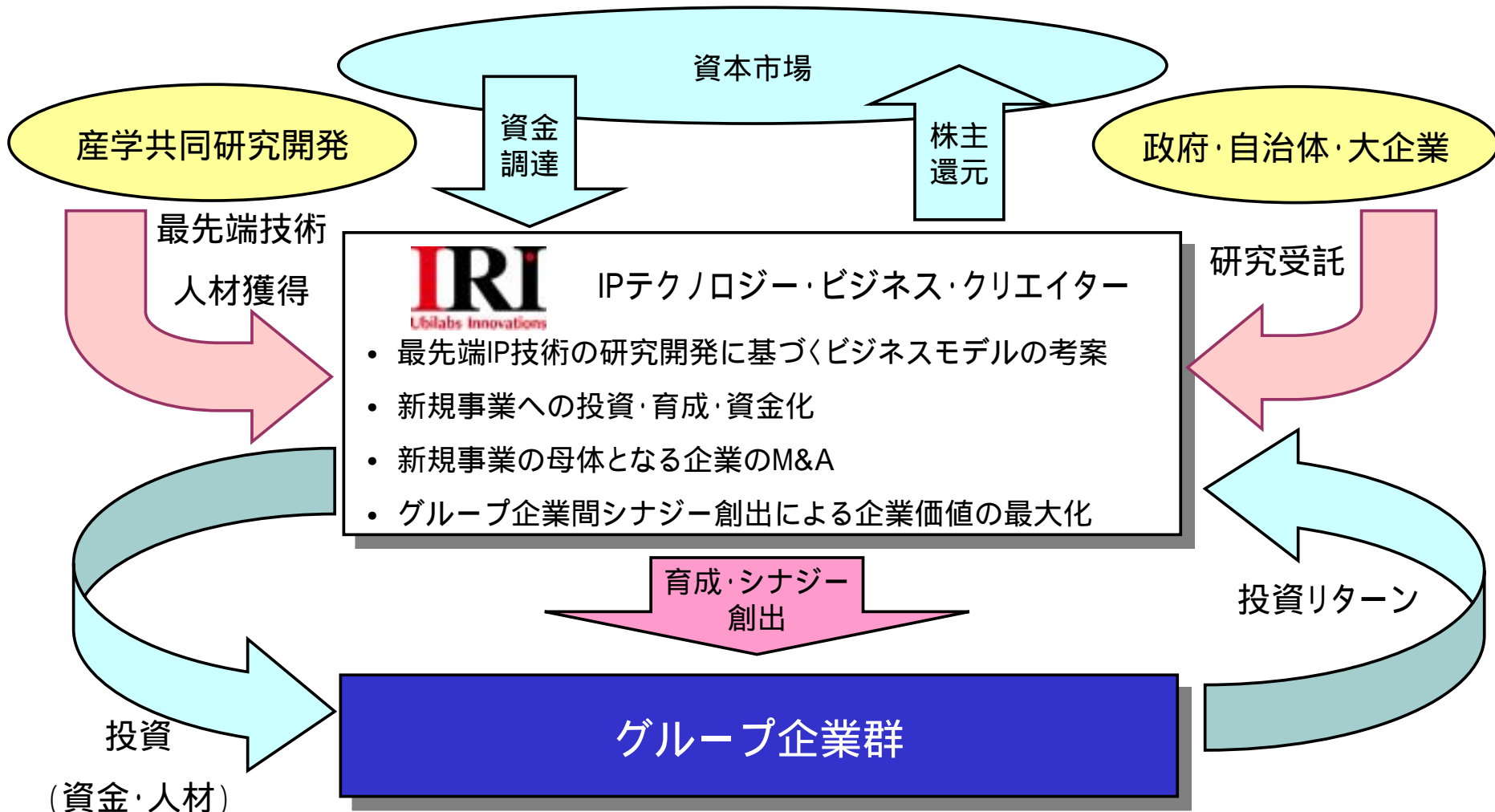
## グループ連結子会社は上場戦略による独立経営を継続

BBTowerは連結子会社から持分法適用関連会社に変更となりました

# 4-4 . IRI本体の機能 : ビジネス・クリエイター

IRI本体は、産業界が必要とする最先端のIPテクノロジーを提供するために、最適なビジネスモデルを企画・育成する「IPテクノロジー・ビジネス・クリエイター」です。

IRI本体のビジネスモデル



### ディペンダブルネットワーク研究所とネットワーク社会基盤事業部

#### 共通点

社会基盤としてのインターネットを支える技術

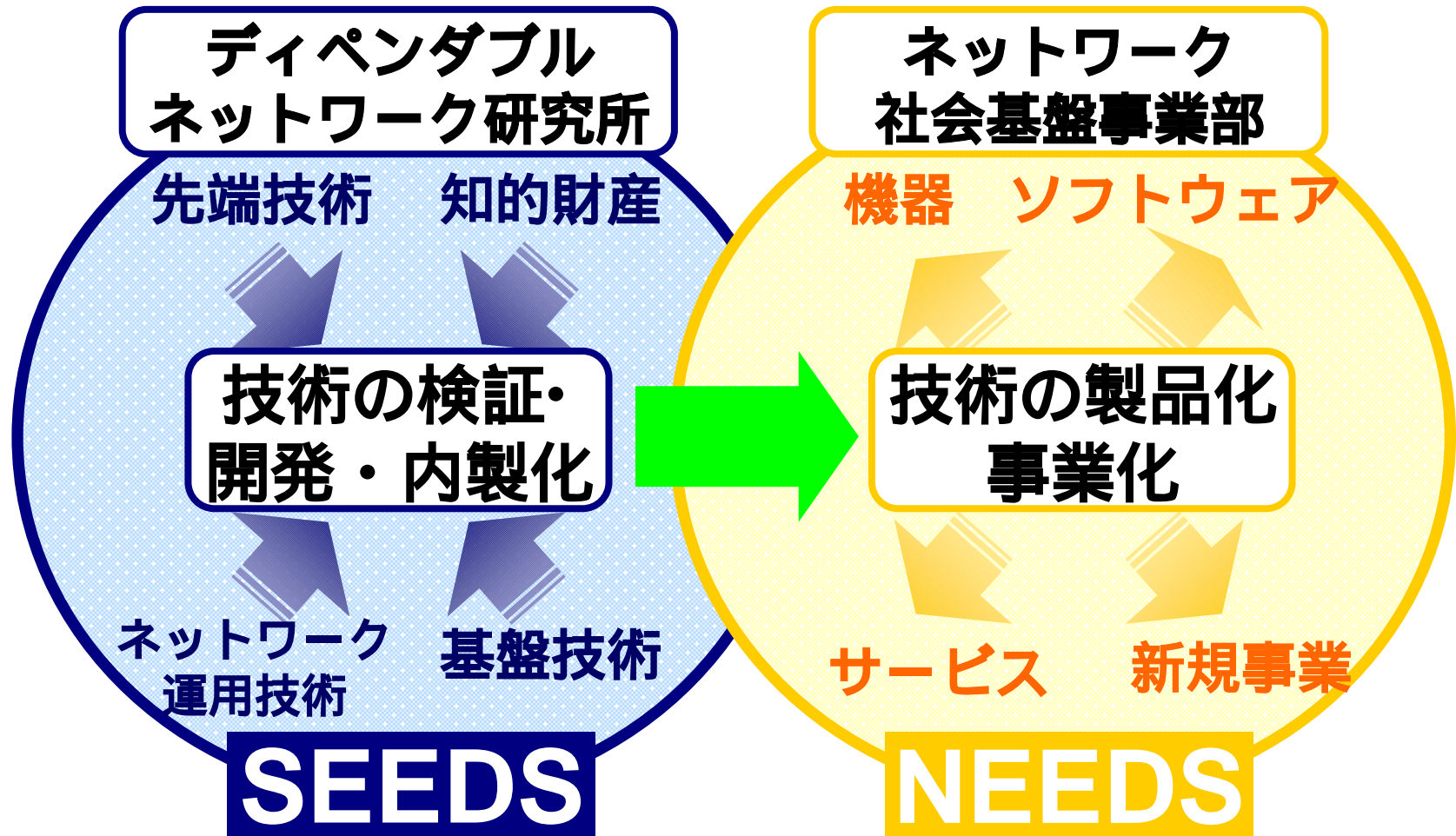
#### ディペンダブル ネットワーク研究所

「落ちない、破られない、  
どこでもネットワーク」  
高可用性・高セキュリティ  
を担保する技術  
高度な放送サービス  
を支える技術

#### ネットワーク 社会基盤事業部

ハイエンド市場\*にフォーカス  
世界の高信頼ネットワーク  
技術の導入・事業化  
モバイル関連事業  
デジタルCATV-IP事業  
医療とネットワークの融合

ハイエンド市場\* : 高信頼性・高セキュリティが要求される政府・金融・航空などの  
ユーザーへのIT・IP技術市場を想定





世界の先端技術を加工  
・チューンアップ  
医療・CATV・モバイル  
国内事業展開

Phase 1 (輸入)  
2006 ~ 2007

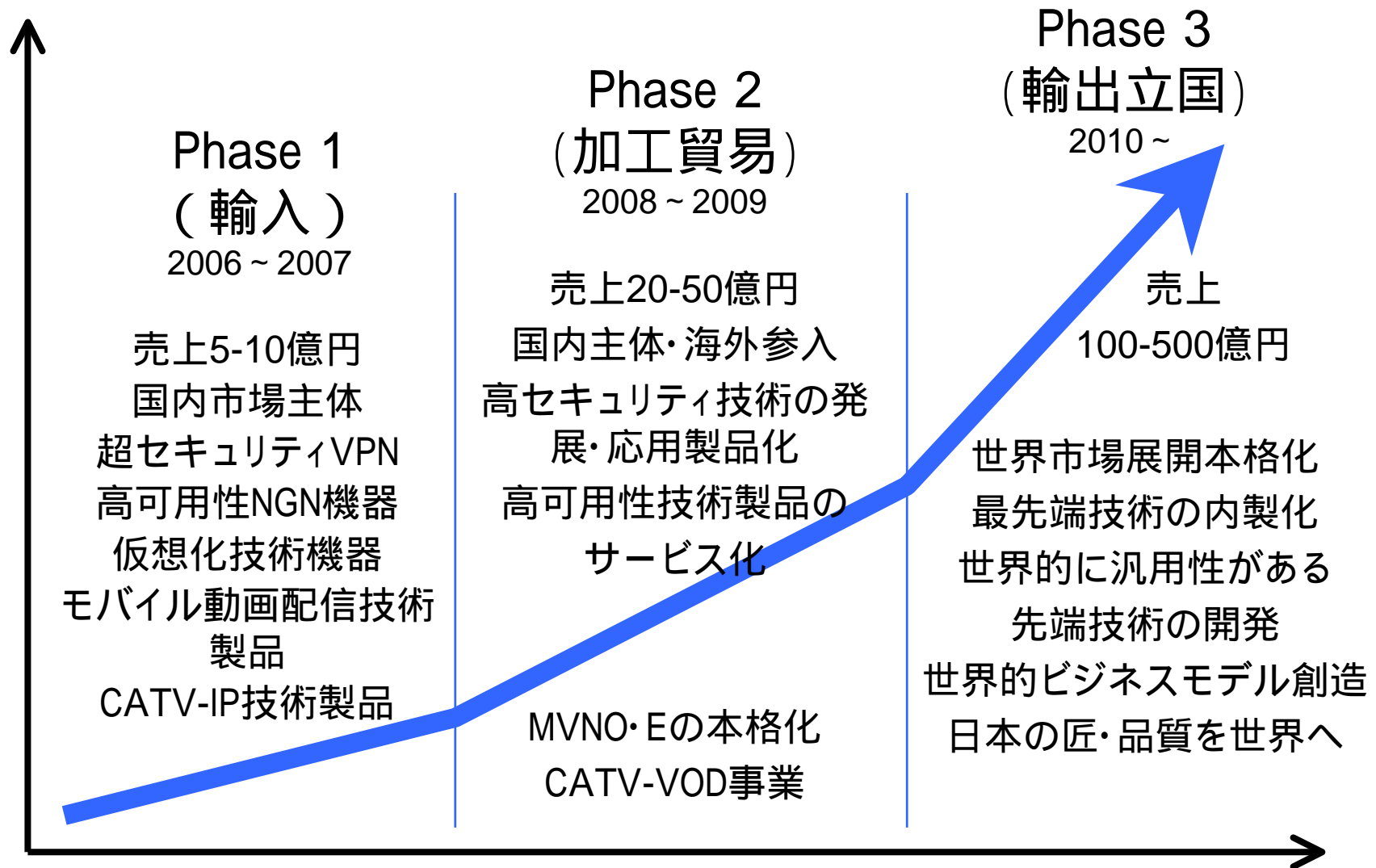
国内技術と世界の技術の融合による  
新技術・ビジネスモデルの創造  
海外市場への展開

Phase 2 (加工貿易)  
2008 ~ 2009

グローバルに価値のある  
IP技術・ビジネスモデルの創造  
世界に通用するファイナンス技術  
・ビジネス戦略実行力を持つ

Phase 3 (輸出立国)  
2010 ~

## 4-8. 世界市場を目指す事業の見込み





ご清聴ありがとうございました